

ほっぷ
すてっぷ

じゃ **JA** んぷ

2023

11

Vol.297

特集

3地域で大盛況！
JA秋まつり

「食農立国JAいわて中央」を支える生産者の想いをつなぐコーナー
秋の味覚、サツマイモ



ニーズに応える
おいしいサツマイモを

穏やかな秋晴れが心地よい10月中旬、盛岡市乙部の川村拓也さんの畑では、栽培するサツマイモの収穫作業も終盤を迎え、出荷準備が進んでいた。父の働く姿を横目にでき立ての焼き芋を頬張る二人の息子を見て拓也さんは「子どもたちはサツマイモが大好きで、収穫もよく手伝ってくれますよ」と優しく微笑む。地元の農業高校を卒業後、福祉事業施設で農業指導員として経験を積んだ拓也さんは、今年の春に独立。現在、サツマイモの他、ミニトマトやネギなど数品目の

生産・消費のつながり
伝統と革新の農業を

独立を機に、今年から盛岡市のブランド野菜である「津志田芋」の栽培を産地である津志田地区で始めた拓也さん。「地域は違いますが、地元生産者の方が温かく迎え入れてくれたのがありがたかった」と話し、「伝統を絶やすことのないよう栽培技術を引き継



- 1.30aの圃場で、「シルクスweet」3000本のほか、今年度は紫芋の一種である「パープルスweetロード」の栽培にも取り組んでいる拓也さん
- 収穫したサツマイモの切り口は、でんぶんの一種で整腸作用などの効果がある「ヤラピン」という白い液体が見られる。これを「キュアリング」という一定期間保温して収穫時にできた傷をふさぐ工程を出荷前に行うことで、サツマイモの保存性を高めている
- JAに出荷されたサツマイモは洗浄機で綺麗に土を落とし、サイズなどの規格ごとに選別される
- 川村家では、釜で焼く焼き芋が定番。じっくりと時間をかけて熱を通した焼き芋は、甘みが増し、ねっとり食感も格別だ

いでいきたい」と力を込める。さらに今後の展望として、「生産者と消費者が交流できる機会を作りたい」と話す拓也さん。「体験農園などで身近に農業を感じてもらい、その体験が農業への興味だとか、地産地消につながってくれたら嬉しい」と将来を見据え、「自分自身も経験を積み、規模を拡大していけるように頑張りたいです」と笑顔で抱負を語った。

今月の表紙

かわむら たくや

川村 拓也 さん (28)

盛岡市乙部でサツマイモや津志田芋などを栽培する
専業農家。趣味は農業

栽培を組み合わせて経営をしている。
JAでは、平成27年度からサツマイモ栽培を推奨し、今年度は面積1.2ha、生産者10人で取り組んでいる。拓也さんは知人が栽培していたことをきっかけに自身も栽培を取り入れたといい、「定期的な除草作業のみで比較的管理しやすく、他品目の栽培とも組み合わせやすい」と魅力を話す。

質だけでなく、見た目も重要」と話す拓也さんは、土を揺さぶって芋を掘り起こす掘り取り機を使用し、サツマイモの皮を傷つけないようにするなど丁寧な収穫作業を心掛けている。
品種によって食感や甘さなどが異なり、用途に合わせて多様なニーズを持つサツマイモ。拓也さんは飲食店や加工業者、そして一般消費者からの要望の違いも口にしながら、「おいしいものを届けることをモットーに、ニーズを上手く栽培にマッチさせながら展開していきたい」と広い視野で見つめている。



目次 CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
川村 拓也さん(盛岡市)	
特集	4
3地域で大盛況! JA秋まつり	
NewsFile	8
旬の農産物を地元の子どもたちへ	
JA青年部子ども食堂へ農産物提供 他	
営農情報	10
今年の稲作概況と来年の対策について 他	
ファーマーズマーケット通信 vol.09	12
サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ!	
まちのスマイル	13
インフォメーション	14
参加者募集中!	
イケアパセミナークリスマス 他	
今月のレシピ	16
ビスケットリンゴ	

全国有数のもち米産地！もちまき



約12,000個のもちまきが行われ、当たり付きを手に入れた来場者には、しわもちもち牛などが贈られました。

あいさつをする佐々木雅博専務 ▲



青年部・女性部



JA青年部主催の〇×クイズでは、紫波町や農業に関する問題を出題！クイズを勝ち抜いた参加者にはお米や特産のフルーツなどが贈られました。



最後はじゃんけんで勝負！



おいしい豚汁やおにぎりはいかが？



JA女性部のブースでは、女性部特製の豚汁やおにぎり、PanoPanoの「もち姫」のパンやお菓子などを販売しました。

特集

3地域で大盛況！

JA秋まつり

管内各地域で秋まつりが開催されました。各会場では地元農畜産物や加工品の販売のほか、青年部主催の〇×クイズ大会や女性部のブース、もちまきやお振る舞いなど多彩なイベントを実施し、多くの来場者で賑わいました。特集では各地域の秋まつりの様子をご紹介します。

しわもちもち牛・しわ黒豚



紫波町が誇るお肉の販売は毎年大人気。特価販売であつという間に完売となりました。



SHIWA
第38回
紫波町産業まつり
in サン・ビレッジ紫波
10月14日(土)・15日(日)

純情むすめもPR！

満一歳一升もち背負い

一升のおもちを背負い、家族や来場者の声援を受けて一生懸命に歩きました！

重いよ～



お兄ちゃんからの熱い応援も！

大盛況のもちまき



浅沼清一組合長が
もちまきに参加しました。



リンゴやラ・フランス、
ネギ、津志田芋を販売し
ました。

第37回 盛岡市農業まつり in もりおか歴史文化会館前広場等 10月28日(土)・29日(日)

JAブース



無料職業紹介所のブースでは農業に
関するアンケートを実施しました。

大迫力のもちつき・お振る舞い



おふるまいには
大行列が

高橋昌造矢巾町長やJ
Aもち米生産部会、JA
女性部の部員らによる
もちつきが行われ、集
まった来場者につきた
てのもちが振る舞われ
ました。



令和5年 矢巾町秋まつり in 矢巾町役場駐車場内特設会場 10月21日(土)・22日(日)

おもちおいしいね！



多彩なステージ



大江裕さんの歌謡ショーや佐比内金山太鼓
などのステージが会場を盛り上げました。



大当たり♪



シイタケ食べてみて！



いただきま〜す！

お米などが当たるガチャガチャ抽選では、
なんと2回連続でお米5kgを当てた方も！
そのほかシイタケのブースでは、
シイタケの特価販売や焼きシイタケの
お振る舞いを行いました。



Information

4年ぶりに開催決定！
JAいわて中央 × サン・フレッシュ都南

サン・フレッシュ都南 収穫感謝祭

開催日時 11月11日(土)・12日(日) 9:00~15:00

場 所 サン・フレッシュ都南 第一駐車場内特設会場
(盛岡市下飯岡21-180)

各種ステージイベントやキッチンカーの出店など、
日頃の感謝を込めて開催します。皆さまのご来場をお待ちしております！



生産者から地元の特産学ぶ

盛岡市立津志田小学校 津志田いものこ学習会



「いものこ先生」の愛称で指導にあたる生産者

盛岡市立津志田小学校3年生134人は10月19日、地元特産のブランド里芋「津志田芋」について学ぶ「津志田いものこ学習会」を行いました。

この取り組みは25年以上続く行事で、地元生産者の有志が定植・収穫の作業体験のほか、歴史や栽培、料理法について学ぶ授業など年3回開催しています。この日は座学授業が行われ、児童は「一つの株に50個以上芋がつくこともあると聞き驚いた」と笑顔を見せ、生産者は「土に触れた経験や知ったことを覚えていってくれたら嬉しい」と話しました。

4 質の高い教育を みんなに 1年かけて「もち姫」を育てよう！ もち小麦消費者交流会



生産者に教わりながら種まきをする参加児童

産地の魅力知って、伝えて

12 つくる責任 つかう責任 (株)フジ・リテイリング 産地研修



ネギの出荷調整作業を体験する参加者ら

JAの相対取引先で愛媛県松山市に本社を置き、四国・中国エリアを中心にチェーンストアを展開する(株)フジ・リテイリングの産地研修が10月11日から13日までの3日間、管内で行われました。店舗の青果担当者ら10人が参加し、ネギの圃場やリンゴの園地、JA施設などの見学を通じて、管内産の農産物について理解を深めました。

参加者は「今回の研修を通して学んだことを、売り場でお客様に伝えられるようにしっかり販売をしていきたい」と振り返りました。

JAや白石食品工業、府金製粉は10月7日、JA本所南側の体験圃場で、今期1回目のもち小麦消費者交流会「種まき作業体験」を開催し、家族7組22人が参加しました。

交流会はもち性小麦「もち姫」の栽培や料理体験を通じて、子どもたちの食農教育や「もち姫」のさらなる生産・消費拡大につなげることが目的。この日、種まき作業を体験した参加児童は「これから大きく育つのが楽しみ」と話し、生産者は「皆で交流しながら、収穫まで楽しく体験してほしい」と呼び掛けました。



旬の農産物を地元の子どもたちへ

JA青年部子ども食堂へ農産物提供



高杉さんに農産物を手渡す青年部の高橋委員長

JA青年部は10月20日、盛岡市青山の「子ども地域よりあい広場わっこの家」へ、青年部の盟友が栽培する米や野菜など約80kgの農産物を提供しました。

農産物は同施設が設置する公共冷蔵庫「わっこ冷蔵庫」にて活用されるほか、月に2度開催している子ども食堂のメニューに使用されました。同施設の高杉千花さんは「毎年の寄付で活動を支えていただき大変ありがたい」と話し、高橋徹委員長は「地元の農産物を食べていただき、利用される方に安心感お届けできたら」と期待を込めています。

News File
ダイジェストを公開中!



農産物の流通を学ぶ!



矢巾町 地元学び塾



JAリンゴ選果場を見学する参加者ら

矢巾町は10月28日、今年度2回目の地元学び塾を開き、町内在住の親子など25人が参加しました。この企画は、矢巾町内の農業・食材に対するファンを増やし、新たな魅力を発見してもらうことを目的に平成30年から開催しています。

今回参加者は、矢巾地域のJA選果場や米倉庫、矢巾カントリーエレベーターを訪れ、JA担当者からの解説を聞きながらリンゴや野菜、米の施設を見学。参加者は「普段なかなか見ることのできない場所を見学でき勉強になった」と振り返りました。

来店者に特産のリンゴ贈る



矢巾総合拠点 ご来店感謝デー開催



来店者に「早生ふじ」と「トキ」2品種のリンゴを贈りました

JA矢巾支所・矢巾地域営農センター・グリーンセンター矢巾は10月19日、「ご来店感謝デー」を開催しました。日頃のご愛顧に感謝を込めてリンゴを先着で計260人に贈呈し、来店者を歓迎しました。

受け取った来店者は「開催を知らずに来たが、思いがけないプレゼントで嬉しい」と笑顔を見せ、阿部正明地域拠点統括は「日頃の感謝をお伝えするとともに、リンゴのPRができて良かった。今後も新たな企画や支所だよりでの情報発信などで、地域の方々から信頼される身近なJAを目指し取り組んでいきたい」と話しました。

グリーンセンターよりお知らせ

棚卸による店舗の休業について

全資材店舗(グリーンセンター・グリーン・受注センター)を終日休業とさせていただきます。ご不便をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

休業日 令和5年11月30日(木)

冬期のグリーンセンターの休業日について

11月 日曜・祝日休業
12月～2月..... 土日祝日休業
ご不便をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

期限切れ農薬等の回収のお知らせ

回収日時 令和5年11月25日(土) 9:00～12:00/13:00～15:00

回収場所 グリーンセンター紫波 ☎676-5081 グリーンセンター都南 ☎637-7400
グリーンセンター矢巾 ☎697-9021 グリーンセンター盛岡 ☎659-0092
詳細につきましては、11月9日付の組合員配布文書をご確認ください。



子牛市場情報 (令和5年10月20日・中央家畜市場)

地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌						
紫波	19	518,000	254,000	374,789	289	42,706
矢巾	6	440,000	265,000	358,833	289	32,833
盛岡	4	405,000	248,000	347,750	271	-39,875
J A 計	29	518,000	248,000	367,759	287	22,892
市場計	100	518,000	202,000	382,780	290	23,680
去勢						
紫波	23	687,000	281,000	549,826	325	112,226
矢巾	9	630,000	300,000	468,889	317	-8,566
盛岡	7	658,000	329,000	470,286	288	-18,158
J A 計	39	687,000	281,000	516,872	316	59,361
市場計	141	774,000	281,000	519,610	320	59,044

農業の求人・求職情報を更新中！

詳しい求人情報はこちらからアクセス

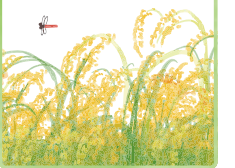


お問い合わせ

JAいわて中央無料職業紹介所
(紫波地域営農センター内)
TEL: 676-3346 / FAX: 672-1595

米穀

今年の稲作概況と来年の対策について



今年の水稲は、田植え以降の気温と日照時間が平年を上回り高温で経過したため、平年よりも生育が早く進みました。また、出穂期以降の日中の気温は30℃以上が続いたこともあり、高温障害による収量や品質の低下が見られました。

1. 高温障害で発生する主な症状

① 白未熟粒
玄米の一部が白濁すること。白濁する部位により乳白、心白、背白、基白粒等と呼ばれ、総称して白未熟

粒といえます。出穂後20日間の高温により胚乳細胞へのデンプン蓄積が阻害されて発生します。また、低窒素濃度や高湿度で増加します。

② 胴割粒

亀裂が入り割れやすくなること。登熟後半以降に降雨・乾燥などで玄米の水分量が変化し、胚乳の生長や収縮のバランスが崩れることで発生するとされています。出穂後10日間の最高気温が高いと、発生頻度が増加します。

2. 高温障害の対策

① 適正な水管理の実施
出穂期から20日間は、昼間は自然落水させて気温が下がる夕方以降に水を入れる「間断かん水」を繰り返して、ほ場内の地温・水温を低く

令和5年度 米検査買入状況並びに等級比率 (10月29日現在)

地域	うるち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	101,474	8,948	347		110,769	151,112
	91.6	8.1	0.3			73.3
矢巾	103,168	4,360	208		107,736	140,059
	95.8	4.0	0.2			76.9
都南	73,307	3,817	1		77,125	105,511
	95.0	4.9	0.0			73.1
盛岡	5,101	31	15		5,147	85,422
	99.1	0.6	0.3			6.0
J A 計	283,050	17,156	571	0	300,777	482,104
	94.1	5.7	0.2	0.0		62.4
地域	もち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	115,175	32,484	18,835	4,799	171,293	178,892
	67.2	19.0	11.0	2.8		95.8
矢巾	21,946	5,716	2,070	192	29,924	31,143
	73.3	19.1	6.9	0.6		96.1
都南	143	15	43		201	80
	71.1	7.5	21.4			251.3
盛岡					0	360
						0.0
J A 計	137,264	38,215	20,948	4,991	201,418	210,475
	68.1	19.0	10.4	2.5		95.7

(上:30kg/個 下:比率%)

保たせます。

② 作土深の確保と施肥管理
作土深を15cm以上とできるだけ深くし、根が十分に張れる環境を整えます。

● また、施肥は生育後半に稲の栄養が不足(葉色が薄い)しないように管理します。

③ 作期の検討
極端な早植えは行わず、出穂期を遅らせて涼しくなつてから登熟するように遅植えするなど移植時期を計画します。



白未熟粒と胴割粒

3. 水稲の作柄概況

農林水産省が公表した9月25日現在における岩手県の作柄は、10a当たり552kgの収穫が見込まれ「やや良」(作況指数104)となっています。

● 白未熟粒が発生しやすい基準温度

出穂後20日間の最高気温の平均32℃以上
出穂後20日間の平均気温の平均27℃以上
出穂後20日間の最低気温の平均23℃以上

● 胴割粒が発生しやすい基準温度

出穂後10日間の最高気温の平均30℃以上



リンゴは
限られた時期のみ
出荷される品種も
ありますので、
お見逃しなく!

今月は リンゴ

サン・フレッシュ都南では、11月18日から贈答りんごまつりを開催します。店舗前の特設会場では、ギフト用を中心に3kg・5kg・10kgと各サイズを取り揃え、店内においてもご自宅用など豊富に販売いたします。さらに期間中毎週土日には生産者が店頭に立ち、ご要望の品種等を直接尋ねることもできますので、大切な方への贈り物やお歳暮などにもぜひご利用ください。

イベント情報

最新情報はホームページやSNSをご覧ください

サン・フレッシュ都南収穫感謝祭 11/11(土)～12(日)

贈答りんごまつり 11/18(土)～12/17(日)

サン・フレッシュ都南

住所 〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡21-180
TEL 019-637-6801
営業時間 9:00～18:00



小枝店長

まちの スマイル

矢巾町・高田

高橋 純さん(40)・愛弓さん(32)のお宅

たかはし ゆづる 右 高橋 由弦くん(8) 左 そうた 奏多くん(6)
えいと 右下 永采くん(3) 中 りつき 律伎くん(0)

所属するサッカーチームでリフティングの練習を頑張っている由弦くん、「YouTuberになってゲーム配信がしたい!」と夢を話す奏多くん。永采くんは保育園でクリップ遊びにハマっているそうで、5カ月の律伎くんはそんなお兄ちゃん達をいつもニコニコ見つめながらすくすくと成長中です。

お父さん・お母さんは普段の様子について「お兄ちゃんたちが下の弟たちの面倒をよく見てくれます」と頼もしさを話しながら、「4人兄弟、これからも仲良く元気に育ってほしいです」と成長を見守っています。



写真: 地元学校給食へ供給するジャガイモの定植作業に集まった同組合の組合員ら



FARMER'S
MARKET
NEWS

Vol.09

今回ご紹介する産直 //

盛岡市・手代森

農事組合法人 都南乙部産直組合

かあさんや

産直 花山野

〒020-0401
盛岡市手代森24-57
☎ 019-696-3420

【営業時間】
4～11月 9:00～18:00
12～3月 9:00～17:00



盛岡市の国道396号沿いに店を構える産直「花山野」は、近隣の手代森・黒川・乙部・大ヶ生地区で生産された野菜や果物をはじめ、山菜やきのこ、加工品など幅広い商品が揃う産直です。11月に入り、同産直で出荷の最盛期を迎えているのがリンゴです。サンふじや「シナノゴールド」、「こうこう」など、多い時で20品種以上が店頭並び、時期ごとに種類豊富なリンゴを味わうことができます。また、生産者の「リンゴを皮ごとまるかじりしてもらいたい」との思いから、同産直が商標登録し、色や糖度など独自の出荷規格を設けて販売している「かわむずらりんご」は、小玉で食べやすく、その蜜入りの

良さから毎年人気の商品です。組合長の藤原仁巳さんは「地域の地形条件や穏やかな気候などが、味の良いリンゴを生み出していると思います」と魅力を話します。さらに同産直では、地産地消やSDGsに着目した取り組みを進めており、共同作業で栽培したジャガイモの地元学校給食への供給や、規格外の農産物を地元企業の食堂へ提供するなど、組合員が一体となり積極的な活動を行っています。産直の今後を見据えながら、「品揃えの拡大などに取り組み、さらなる知名度向上を目指したい」と話す藤原さん。「これからリンゴの品揃えが一番増えてくる時期



オススメ
情報

リンゴ予約会・販売会

予約会 11月10日(金)～12日(日)

販売会 11月24日(金)～26日(日)

店舗前の特設会場で開催。ギフトなどの購入・配送が通常よりもお得に利用できます。

なので、ぜひ一度いらしていただきたいです」と笑顔を見せ



役員手帳

自然環境と向き合った 農業を

金融・共済専門委員長
伊藤 正之 理事

日頃より農協事業全般にわたりご利用、
ご協力賜りありがとうございます。

今年は記録的な猛暑となり、農作物にかなりの影響がありました。また、暑さによる農作業中の事故なども多かったように聞いております。地球温暖化が問題化して大分経ちます。今まで当管内はそれほど大きく影響がありませんでしたが、今後もこのような状況が続くのか心配なところがあります。昔から百姓は「毎年一年生」と言われますが、確かに毎年天候などは違うので、その年ごとの対応が必要です。本組合も情報収集に努めて、迅速な対応に努めてまいります。

AIなど、技術革新においては目覚ましいものがありますが、農業など一次産業は自然相手の仕事であり、人知の及ばないところが大きいと感じます。今一度、私たちが自然環境への負担軽減をはかりながら、自然への畏敬の念を持って日々暮らすことが大切ではないでしょうか。その上で想定されるリスクに対して対処しておくことが必要と感じます。担い手不足、資材費の高騰など難題が山積しておりますが、これからも組合員の皆様と一緒に、役職員一同この難局を乗り越えていきたいと思っております。

INFORMATION

参加者募集中！ イケパパセミナークリスマス

今年のクリスマスのごちそうはパパにお任せ！
いつも頑張っているママや子どもたちのために、
クリスマス料理作りに挑戦します。
ママと子どもたちには工作に挑戦していただきます。

- 日時** 令和5年12月9日(土) 10時～
- 会場** JAいわて中央本所(紫波町土館字沖田98-20)
- 参加対象者** 小学生以下のお子さまをもつお父さんとその家族
- 参加費** 一家族 2,000円 ※JAいわて中央組合員家族は半額
- 参加人数** 先着 8組 ※定員に達し次第、募集を締め切ります

参加ご希望の方はJAいわて中央ホームページの
申込専用フォームからお申込みください
【申込締切】11月30日(木)

お申し込み・お問い合わせ 生活推進部生活推進課 ☎673-7468

ゼンリン住宅地図2023年度版 新刊販売のご案内

2023年10月出版
盛岡市北部/盛岡市南部
それぞれ製本版 or バインダー用中身版
定価 27,500円(税込) → **組合員価格 26,900円(税込)**
※バインダーも必要な方は、別途一冊につき7,260円(税込)プラスになります

2023年8月出版
紫波町 製本版 or バインダー用中身版
定価 18,700円(税込) → **組合員価格 18,200円(税込)**
※バインダーも必要な方は、別途一冊につき7,260円(税込)プラスになります
お申し込み・お問い合わせ 各地域営農センター駐在生活推進課まで

令和6年度 岩手県立盛岡農業高等学校 特別専攻科学生募集のご案内

高校卒業後の農業後継者や新規就農者及び就農を志す方々を
支援する社会人教育の学科です。特に畜産専攻生は、家畜人工授
精師、受精卵移植師の資格取得が可能です。週2日登校して学習、
修業年限は2年間です。

- 入試日程**
- 願書受付** 令和5年11月13日(月)～27日(月)
※入学条件は高等学校卒業または卒業見込みの方です。
- 試験日** 令和5年12月6日(水)
- 試験内容** 面接・作文 **募集定員 20名**

入試に関するお問い合わせ 岩手県立盛岡農業高等学校特別専攻科 ☎688-4211

CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法 郵便はがきにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月の
テーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送り
ください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都南で使
える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月の
テーマ **今年を振り返って** 応募締切 **11月30日** 必着

送り先 〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20 \コチラから/
JAいわて中央
「JAんぶ11月号お楽しみクイズ」係

ホームページ 広報誌応募フォームにて受付 ▶

E-mail kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

10月号の答え
「カラスウリ」

コ	ス	モ	ス	フ	ト
ア	キ	チ	ズ	コ	ウ
ラ	ウ	バ	ギ	フ	
ワ	タ	リ	ド	リ	
ク	リ	キ	ク	バ	
ラ	イ	ト	シ	ユ	ト
ブ	ン	シ	ヨ	カ	ン

※ご記入いただいた個人情報は、お便りコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

→
ヨ
コ
の
カ
ギ

- ① 甘柿の王様と呼ばれることもあります
- ② 屋内のこと。——派
- ③ ボンレス——、 ——サンド
- ④ 漢字では石榴、柘榴など書く果物
- ⑤ たき火に手をかざして取ります
- ⑥ 飲んで食べて話して楽しめます
- ⑦ 山野で生まれ育ったヤマノイモ
- ⑧ 奇術師が披露するもの
- ⑨ ベンチよりふかふかしています
- ⑩ 富士山の山頂を白くします
- ⑪ 漬物やワインを詰めます

↓
タ
テ
の
カ
ギ

- ② 日光の紅葉の名所。48個のカーブがあります
- ⑤ ——大敵、運転中は気を引き締めて
- ⑦ 白——に身を包んだ花嫁さん
- ⑧ ジョギングや水泳、筋トレなどはこの一種
- ⑩ ハウスを使わず作物を育てる——栽培
- ⑫ 考えるときにひねるもの
- ⑬ 応用に移る前にしっかりと
- ⑭ 1カ月の後ろ3分の1
- ⑮ ペンのはキャップと呼ぶこともあります
- ⑯ 東京都中央区の地名。豊洲へ移転した東京都中央卸売市場があった場所
- ⑰ 2人でおそろいの服を着ます

テーマ 最近感動したこと

野菜や果物が立派に成長したのは、農家の方がこの夏の猛暑にもめげずに一生懸命育ててくれた賜物で、ありがたく、感動いたしました。

(向中野・S/77歳)

酷暑の中でも農作物を育ててくれた全ての皆さんに感謝して、大切に食べたいですね。

私も栗ご飯がとても楽しみでした。子どもの頃はかわりして食べましたが、作る身になった今は、皮を剥く大変さ、身に染みて

います。(前九年・S/67歳)

私も作る側になり、手間や時間の掛かる料理を作ってくれた母の愛情に感謝しています。

藤井聡太さんが21歳の若さで将棋界の八冠を達成したこと。5歳の時、祖母が教えたのが始まりで負けず嫌いだったようだ。

(清水町・I/75歳)

偉業を達成してもなお、冷静で謙虚な姿勢が印象的です。悔しい経験から謙虚に学び、努力してきたのだと思います。

皆様からのお便りをご紹介します！

シャインマスカットを食べられたことですね。食欲の秋、丸ごと食べられておいしくて、ブドウの王様にふさわしいと感動しました。(土館・H/67歳)

甘さや香り、豊富な果汁、食べやすさ、どれをとっても優秀！ファンが多いのも納得ですね。



JAバンク岩手

詳しくは
こちら

キャンペーン期間
令和5年11月1日(水)～
12月29日(金)

キャンペーン2023

1 行政庁に対する「岩手中央農業協同組合で発覚した不祥事件に係る再発防止策」の決定および報告

【議決事項】

10月定例理事会が10月30日、紫波支所で開かれた次の議案について決議されました。

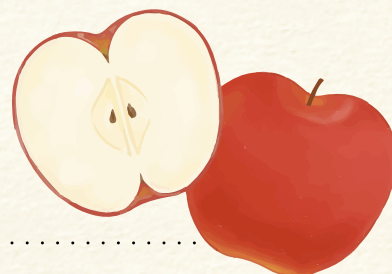
理事会報告



ビスケットリンゴ

材料(8個分)

リンゴ 1/2個
砂糖 大さじ1
クリームチーズ 50g



作り方

- ① リンゴは皮つきのまま8等分にし、ひと口大に切る
- ② 耐熱ボウルに①と砂糖を入れ、電子レンジ(600W)で約2分加熱し、冷ましておく
- ③ ビスケットにクリームチーズを塗り、②を盛りつけて出来上がり

編集後記



10月は紫波・矢巾・盛岡の各地域で秋まつりが行われました。場所によっては雨の中の開催となった会場もありましたが、久しぶりに行われたもちまきやもちつき、お振る舞いなど、雨や寒さに負けず元気いっぱいに収穫の秋を楽しむ皆さんの姿が印象的でした。参加された関係者の皆さま、大変お疲れさまでした!



食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋。「○○の秋」という表現が豊富なのは、過ごしやすい気候でやる気や集中力が高まる季節だからだと言われています。各地域で開かれた秋まつりでは、実りの秋を満喫するたくさんの笑顔で溢れました。皆さんはどんな「秋」を楽しみましたか?ぜひ、お聞かせください!

